

**国内最大の放送・映像制作機器の展示会
「2019年国際放送機器展（Inter BEE 2019）」に出展**

キヤノンは、2019年11月13日（水）から15日（金）まで、幕張メッセで開催される国内最大の放送・映像制作機器の展示会「2019年国際放送機器展（Inter BEE 2019）」に出展し、「高解像度のその先へ。あらゆる映像表現の可能性を超えていく。」をコンセプトに、新製品やキヤノンの最先端技術を紹介します。



キヤノンブース（イメージ図）

1. 8K 放送用ズームレンズなどさまざまな 8K 映像ソリューションを展示

世界最長^{※1}焦点距離・世界最高^{※1}の 51 倍ズームを実現した 8K 放送用フィールドズームレンズ“UHD-DIGISUPER 51”（2020 年 4 月上旬発売予定）と、世界初^{※2}の 8K 放送用ポータブルズームレンズ“7×10.7 KAS S”（2019 年 12 月上旬発売予定）をはじめ、8K に対応した豊富なレンズのラインアップを展示します。また、キヤノンが開発を進めている 8K/HDR^{※3} 対応のカメラ、レンズ、ディスプレイのタッチ&トライができるほか、4K プロジェクターを 4 台活用した 8K シアターでは、8K 映像ならではの精細さと奥行きを体感することが可能です。

2. 4K/HDR 対応の高画質・高性能な映像制作機器を紹介

映像制作機器 CINEMA EOS SYSTEM をはじめとする、4K/HDR 対応の高画質・高性能な幅広い製品群を紹介します。5.9K フルサイズセンサーと新開発の映像処理プラットフォームを搭載したデジタルシネマカメラの新製品「EOS C500 Mark II」（2019 年 12 月下旬発売予定）、PL マウントのシネマカメラ用単焦点レンズシリーズ「Sumire Prime」（2019 年 6 月より順次発売）、最大・全白輝度 2,000cd/ m²と高コントラスト 200 万：1 を実現した業務用 31 型 4K/HDR ディスプレイ「DP-V3120」（2019 年 11 月発売）などを体験できます。

3. 実用化段階に進展した自由視点映像生成システムによる映像を上映

実用化段階に進展した自由視点映像生成システムによる、ラグビーの試合のハイライトシーンを上映します。自由視点映像は、実際のカメラ位置にとらわれない自由な位置や角度からの映像により、まるでグラウンドの中にいるような体験を提供します。

※1 1.25 型センサー搭載の 8K 放送用カメラ対応フィールドズームレンズにおいて。2019 年 11 月 6 日現在。キヤノン調べ。

※2 1.25 型センサー搭載の 8K 放送用カメラ対応ポータブルズームレンズにおいて。2019 年 11 月 6 日現在。キヤノン調べ。

※3 High Dynamic Range の略。映像の明部と暗部の輝度差（ダイナミックレンジ）を向上させる技術。

<ご参考：CINEMA EOS SYSTEM オープンセミナーを開催>

「EOS C500 Mark II」で撮影された映像とともに、4組のクリエイターがその印象や使用感について語るセミナーを会期中の3日間にわたり開催します。また、2019年アカデミー賞長編ドキュメンタリー賞を受賞した映画「Free Solo」のJimmy Chin監督への単独インタビューをもとに、CINEMA EOS SYSTEMの魅力についても解説します。

<主な展示内容>



8K 放送用フィールドズームレンズ
“UHD-DIGISUPER 51”



8K 放送用ポータブルズームレンズ
“7×10.7 KAS S”



デジタルシネマカメラ
「EOS C500 Mark II」



デジタルシネマカメラ用単焦点レンズシリーズ
「Sumire Prime」



業務用 4K/HDR ディスプレイ
「DP-V3120」



採用レンズの発売から
50周年を迎えた「人工蛍石結晶」

<2019年国際放送機器展（Inter BEE 2019）開催概要>

名 称：（第55回）2019年国際放送機器展

International Broadcast Equipment Exhibition 2019（略称：Inter BEE 2019）

会 期：2019年11月13日（水）～15日（金）

会 場：幕張メッセ

主 催：一般社団法人 電子情報技術産業協会

入場料：無料（全来場者登録入場制）

<参考情報：2018年実績>

出展者：1,152社・団体

来場者：40,839人